

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

『やさしいっばい』『ともだちっばい』『みんないきいき』瀬ヶ崎っ子

- 「分かる授業」「楽しい授業」を目指して、一人ひとりの子どもをより確かに理解し、学習内容を確実に身につけられるように取組を進め、確かな学力・人間性豊かな子を育てます。(知)
- 子ども同士のかかわりを深め、互いに違いを認め、いじめや差別のないなまづくりを進め、偏見や差別に対して、「おかしい」と言える子を育てます。(徳)
- 「早寝」「早起き」「朝ごはん」の規則正しい生活をする姿勢を培うとともに食教育を進め、自分や人の生命と体を大切に健康でたくましい子を育てます。(体)
- 家庭や地域と連携を図りながら、自分たちの住んでいるまち「せがさき」をはじめ、金沢区や横浜に誇りをもてる子を育てます。(公)
- 様々な人とのコミュニケーションをおとして、ものの見方や考えかたを広げようとする子を育てます。(関)

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

コミュニケーション力
問題発見・解決能力
自分づくりに関する力

具体化した資質・能力

- 人間尊重の精神に基づき、豊かな人間関係を築いていく力を育みます。
- 身近にある偏見や差別に気づき、それに向き合い、それをなくしていくという心情と行動力を育みます。
- 自然体験や社会体験を通して自ら問題をとらえ、それを主体的に解決していく力を育みます。

中期取組目標

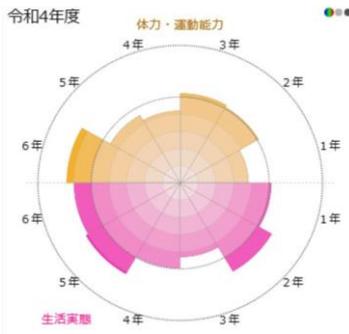
- まちとともに歩み、「だれもが」「安心して」「豊かに」すごせる学校にします。
- ・子どもに寄り添い、一人ひとりを大切にするとともに、その教育に情熱と使命感をもって臨む教職員集団を目指します。
- ・学校教育目標の具現化と諸課題の解決に向かって、教職員が一体となって取り組める組織作りに努めます。
- ・子どもたちが、主体的に学ぶということを大切にして、授業改善に努めます。
- ・家庭や地域とのかかわりを豊かにし、結びつきを強めていくとともに、協働して人権教育の充実した特色ある学校づくりに努めます

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①学校保健委員会を活用し、子どもたちが日常的に自分の健康を意識できる活動をつくと共に、長期休みに「生活リズムチェック」などを通して家庭と連携した取組を推進する。 ②各学級で休み時間に活用できる用具を工夫し、外遊びを推進する。 ③「集会」「週間」等子ども自身が体力向上を意識して参加できる活動を工夫する。
担当	体育部・保健部

健やかな体に関わる本校の状況

体力テストの結果を見ると、体力・運動能力に関して6年生は高い結果を出している一方、1・4年生はやや低い結果となった。特に4年生以降の20mシャトルランと各学年の握力の結果が大きく下回っている。他の種目の結果については一人一人の個人差が大きい。生活実態調査を見ても、運動が好きな児童と苦手な児童が両極端に分かれていることがであり、運動が苦手な児童が体を動かすことに興味をもてるよう様々な機会を作っていく。



今年度の目標

体を動かす機会を増やし、進んで健康的な体を作ろうとする。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
学校保健委員会では、昨年度までの学校全体の運動に関する実態や傾向、保健に関するデータを基にして、健康的でよりよい学校生活を送れるような提案、活動を計画する。
委員会活動では、運動委員会・集会委員会・保健委員会・給食委員会・情報委員会などで連携をしながら、休み時間に縄跳びを楽しむことができる週間を設定したり、各クラスに配布した長縄を活用した集会を計画したり、体力テストの結果を基に体力の向上を目的とした活動を提案したりと、楽しみながら運動に触れられるようにするとともに、運動する経験を積み重ねていけるようにする。

下半期
二度目の学校保健委員会では、上半期の取り組みに対するフィードバックを行い、運動が自分たちの体力にどのような変化があったかについて考える機会を設ける。
委員会活動では、寒くなって休み時間に外に出る児童が減る時期に合わせて、様々な委員会活動で協力しながら楽しく運動できるような活動を企画していく。